

中学校における奉仕活動・体験活動

～2つの中学校長会研究協議会の発表を中心に～

全日中・生徒指導部長 中 根 勉

<各中学校の取り組み>

- ① 総合的な学習の時間・老人ホーム・保育園・身障者施設の訪問体験・・・等
- ② 必修教科・選択教科・保健体育・技術家庭・理科等、道徳・奉仕の精神、実践の紹介
- ③ 特別活動・・・ア 行事・・・地域清掃活動、福祉施設訪問、移動教室(農業体験、スキー等)
イ 生徒会・・・ユニセフ、赤い羽根、老人ホーム訪問、古切手等集め
- ④ 部活動・・・野球、サッカー、テニス、バスケ、吹奏楽、ボランティア、手話、園芸等

H15 全国の中学生 3,748,319 人のうち 2,655,299 人、70.8 % が運動部に加入している。文化部には約 1 割の生徒。合わせて、約 8 割の生徒が体験学習や奉仕活動に参加。しかし、現行の学習指導要領では保健体育の指導計画の中で触れている程度。

<第 55 回関東甲信越地区中学校長会研究協議会 群馬大会> H15.6.11～13

第 5 分科会 A

群馬県多野郡吉井町立入野中学校長 鈴木達也

主題 望ましい集団活動を通して、自己実現を図る特別活動

～成就感を味わわせ、社会性を育む学校行事の推進～

- (1) 群馬県多野郡内における職場体験学習の実施日数は 2 日が多く活動内容は多様化している。
- (2) 入野中学校における職場体験学習は、事前学習・当日・事後指導が綿密な計画の下になされている。特に、職場体験の発表においては表現の工夫がなされている。
- (3) 文化祭は、1 年の「梅と文化」2 年の「職場体験学習」3 年の「日本伝統の文化」の体験に関連させている。その内容も、英語弁論大会・少年の主張・ホームステイの発表、合唱コンクール、ブラバン演奏、総合的な学習や教科や委員会の発表等、多彩であり学校文化としての特色が出ている。

第 5 分科会 B

長野県立高山村立高山中学校長 倉島松生

主題 地域(郷土)の一員としての自覚を深める集団活動

～VS 活動(施設との交流)とフラワーロード(コスモス街道)づくり～

- (1) フラワーロード(コスモス街道)づくり

高山中学校から約 1 km 離れた県道沿いに 600 m にわたって、生徒会を中心に花づくりを愛好する地域のグループと連携し、コスモスを育ててきた。

フラワーロード(コスモス街道)づくりの中で、PTA 親子作業で友人や PTA の方から仕事を認めてもらい生徒が自信や自尊感情を育てることができた。また、植物の生命力の強さを実感したり、各自が責任感や勤労感を高めたり、自己を見つめ直し成長を感じさせる集団活動にさせることができた。

- (2) VS 活動(施設との交流)

学区内にある特別養護老人ホーム「須坂荘」との交流を、お花見会におけるボランティア活動・資源回収からの車椅子贈呈活動・通常活動の 3 つから紹介している。

特別養護老人ホームとの交流を通して、生徒は「楽しかった」「喜んでもらえてよかった」という充実感を味わったり、「贈呈式をやってよかった」という感想を語ることができたり、年代の違いを越えお互いがどうすれば気持ちよく生活できるか・福祉や介護を考えさせている。

第1分科会 1

群馬県高崎市立南八幡中学校長 箱田充宏

特色ある学校づくりを目指した教育課程の編成・実施 ～「やるベンチャー」で「生きる力」を～
平成12年度より高崎市内16校の中学2年生全員による5日間（月曜から金曜）の体験活動「高崎市やるベンチャーウィーク」を実施している。趣旨は①自分なりの生き方を見付けられるよう心の教育を推進する②地域に学び、共に生きようとする心や感謝の心、自立心を養うことである。

「総合的な学習の時間」（平均80時間）の60%の48時間を配当、特別活動12時間

◎高崎市（16校、約3,000名）の活動の内容

- | | | | | | | | |
|--------------|--------|-------|-------------------|------------|-------|------|------|
| (1) 勤労生産的活動 | 126名 | 4.2% | ・農業 | ・園芸 | ・畜産 | 等 | |
| (2) 職場体験活動 | 2,093名 | 70.7% | ・商業、販売 | ・幼稚園保育園小学校 | ・官公署 | ・飲食店 | ・病院等 |
| (3) 福祉体験活動 | 363名 | 12.3% | ・福祉施設、介護、リハビリ | 等 | | | |
| (4) 芸術文化創作活動 | 57名 | 1.9% | ・だるま製造 | ・伝統芸能 | ・茶道 | 等 | |
| (5) 調査研究活動 | 73名 | 2.5% | ・発掘 | ・町調べ | ・環境調査 | 等 | |
| (6) その他の活動 | 248名 | 8.4% | ・地域ボランティア（清掃、花作り） | 等 | | | |

第6分科会 1

徳島県上那賀町立平谷中学校長 西改史郎

主題 恵まれた自然・地域の中での体験活動を通して、地域社会の一員としての自覚を育てる

一家庭・地域社会・学校間の連携をはかりながら一

最初に、道徳教育の重点目標・年間計画・魅力的な授業の創造並びに体験学習・総合的な学習のねらい・流れ・課題学習・学習共同体の紹介。体験を生かした道徳教育と総合的な学習の取り組みのねらいを明確にしている。「実践実例」において、「上那賀町探索マップ・資料」にまとめ保・小・中に配布したこと、社会福祉協議会におけるお年よりへの配食サービスや暑中見舞い・寒中見舞い等のボランティア活動、地域の高校の先生・生徒を招き花の植え付け・手入れの指導を受け、育てた花を小・保の児童と共に地域に植えていったこと、中学生がリーダーとなり小や保の児童と町内の清掃活動をしたこと等が紹介された。それらの諸活動は、生徒に地域の良き伝統の創造や地域社会の一員としての自覚を育てる上で大事な実践である。地域の自然や人材を生かした体験活動やボランティア活動が生徒の心を育てることを学んだ発表である。「広報活動」では、毎月発行している学校新聞・学級新聞や町会広報誌や社協広報誌、時には地方新聞やテレビの活用が紹介されている。

第6分科会 2

高知県土佐郡本川村立本川中学校長 岡田勉

主題 地域に根ざした教育の実践 一地域とともに生きる一

1976年からは、めずらしい全寮制の学校としてスタートした。現在、山村留学生は10名、地元10名、計20名が寮生活をしながら、学校生活をしている。地域で伝えられてきた文化や民話や本川太鼓を継承し、保小中の音楽鑑賞や運動会を行ったり、地域の探索は地域への連携にとって重要な活動として紹介されている。地域での職業体験や一斉清掃、「地域にこだわった」職場体験や地域の花作り、高齢者との交流会、年賀状づくり、学校だよりの全戸配布、地域への図書室・特別教室の開放、森記念植樹などは、生徒の心を育てることを学んだ発表であった。